

プログラム 2008年1月11日(金)

9:30~9:35 開会の挨拶

草野 満夫 (リザーバー研究会会長 昭和大学 一般・消化器外科)

9:35~10:31 セッションI : 診断

座長：阪口 浩 (奈良県立三室病院 放射線科)
関 裕史 (新潟県立がんセンター新潟病院 放射線科)

1. リザーバーDSAとリザーバーシンチグラフィの所見が異なった肝動脈偽閉塞の1例
瀬之口輝寿 (鹿児島大学病院 放射線科)
2. ^{99m}Tc -MAAを用いた肝血流シンチグラフィにおけるAVシャント率に影響を及ぼす因子に関する検討(第2報)
尾崎 利郎 (新潟県立がんセンター新潟病院 放射線科)
3. 肝切除後のCT/SPECT fusion画像を用いたリザーバー留置後の薬剤分布と治療成績の検討
田村 吉高 (熊本大学大学院 放射線診断分野)
4. CT/SPECT fusion画像を用いたリザーバー留置後の体位による薬剤分布の影響についての検討
池田 理 (熊本大学大学院 放射線診断分野)
5. WHF動注後の肝切除術前病巣評価としてFDG PET/CTが有用であった大腸癌肝転移の1例
井隼 孝司 (山陰労災病院 放射線科)
6. 大腸癌肝転移に対するWHF肝動注療法におけるMRI拡散強調像を用いた早期効果予測
田中 利洋 (奈良県立医科大学附属病院 放射線科)
7. 肝拡散強調画像で高信号を示し、リザーバーCTが肝転移との鑑別に有用であった1例
高野 徹 (長岡赤十字病院 放射線科)

10:31~11:11 セッションII : 動注1 (肝以外転移)

座長：清水 篤 (海老名総合病院 マタニティセンター)
中村 健治 (大阪市立大学医学部 放射線科)

8. 膀胱腫瘍における動注リザーバー埋め込み術の局所合併症についての検討
阿知波左千子 (兵庫医科大学 放射線医学教室)
9. 頭皮血管肉腫に対するリザーバー留置下IL2動注療法
高司 亮 (大分大学医学部腫瘍病態制御講座放射線医学)
10. 胸壁露出型進行乳癌に対するリザーバー鎖骨下動注化学療法：第2報
嶋本 裕 (聖マリアンナ医科大学 放射線医学教室)
11. EPIR (エピルピシン) 動注により肝動脈スパスムが誘発された乳癌肝転移の3例
森口 理久 (静岡県立静岡がんセンター 画像診断科)
12. 動注リザーバー血流変化時マイクロバルーンカテーテルが血行動態予測に有用であった多発肝転移の一例
中澤 梓 (群馬大学大学院医学系研究科 画像核医学)

プログラム 2008年1月11日(金)

11:11~12:07 セッションⅢ：動注2（合併症）

座長：秋丸 琥甫（日本医科大学附属病院 消化器外科・移植外科）
齊藤 博哉（旭川厚生病院 放射線科）

13. 3本の肝動脈が存在する症例において、カテーテル留置時のNBC-lipiodolにより右肝動脈への吻合が途切れた症例
山浦 秀和（愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR部）
14. Stent angioplastyによる対応が有用であった肝動脈偽閉塞
祖父江慶太郎（国立がんセンター中央病院 放射線診断部）
15. DSM動注が原因と考えられた肝動脈閉塞の一例
石崎 彰（旭川医科大学 消化器病態外科）
16. リザーバー動注化学療法中に肝動脈胆管漏をきたした2例
銚立 博文（旭川厚生病院 放射線科）
17. 肝動注カテーテルが十二指腸に穿通した2例
南 哲弥（金沢大学 放射線科）
18. 細径カテーテルGDAコイル法のカテーテル先端孔が肝動注治療中に再開通し心窩部痛をきたした一例
大井 博之（新潟県立がんセンター 放射線科）
19. 肝動注用留置カテーテル破損の1例－皮下漏出と抜去時断裂－
花輪 千智（山形大学医学部附属病院 放射線診断科）

12:15~13:15 ランチョンセミナー（共催：バイエル薬品株式会社）

司会：廣田 省三（兵庫医科大学 放射線科）

「放射線科領域におけるリスクマネジメント 特にIVRを含む癌治療について」

講演：古川 俊治 先生（慶應義塾大学法科大学院教授・医学部外科教授 弁護士）

13:15~14:03 セッションⅣ：CVリザーバー1（技術：鎖骨下～上腕）

座長：滝澤 謙治（聖マリアンナ医科大学 放射線医学教室）
渡邊 正志（東邦大学医学部附属大森病院 一般・消化器外科）

20. 『当科でのCVリザーバーの挿入法』－穿刺時の工夫による簡易皮下トンネル作成法－
田口 雅海（八戸赤十字病院 放射線科）
21. 経皮経肝的中心静脈リザーバー挿入の一例
藤川あつ子（聖マリアンナ医科大学 放射線科医学教室）
22. 廃用四肢拘縮・全身状態不良症例に対する中心静脈リザーバー留置術の検討－外頸静脈切開－
福田 春彦（財団法人シルバーリハビリテーション協会シルバー病院 外科）
23. Image-guided内頸静脈リザーバー留置法80例の検討
田部井勇助（東京都立駒込病院 脳神経外科）
24. 上腕留置式中心静脈ポート
井上 正義（奈良県立医科大学 放射線科）
25. 当院における上腕静脈穿刺カテーテルポート留置の工夫
福田 耕二（医療法人明和会 中通総合病院 外科）

プログラム 2008年1月11日(金)

14:03~14:59 セッションV：動注3（技術）

座長：浜田 弘巳（日鋼記念病院 外科）
佐竹 光夫（国立がんセンター東病院 放射線部）

26. 3Frシステムを使用した肝動注リザーバー留置術の初期経験
宮崎 将也（群馬大学大学院医学系研究科 画像核医学）
27. 大動脈留置型特殊リザーバー（System-I-2）による治療が有効であった肝転移併存切除不能大腸癌の1例
有松 秀敏（久留米中央病院）
28. CO2-DSA下に肝動注リザーバーを留置した3例
坂本 憲昭（国立がんセンター中央病院 放射線診断部）
29. CHA-coil法によるカテーテル留置を行った2例
西尾 龍太（愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR部）
30. 3本の肝動脈が存在する症例に対し、右肝動脈へ一本化した症例の経過について
山浦 秀和（愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR部）
31. 総肝動脈閉塞に対し肝動注リザーバー留置を施行した1例
佐藤 洋造（愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR部）
32. 動・静脈シャントを伴う大腸癌肝転移に対し肝静脈塞栓を併用した肝動注化学療法が奏効した1例
西尾福英之（奈良県立医科大学 放射線科）

14:59~15:55 セッションVI：大腸癌肝転移

座長：熊田 卓（大垣市民病院 消化器科）
新槇 剛（静岡県立静岡がんセンター 画像診断科）

33. 黄疸を有する大腸癌多発肝転移に対するペバシズマブの使用経験
青木 貴徳（日鋼記念病院 消化器病センター）
34. 大腸癌多発肝転移症例に対するFOLFOX療法についての検討
須藤 剛（山形県立中央病院 外科）
35. 大腸癌肝転移WHF肝動注治療増悪症例に対する新規抗がん剤を用いた後療法：5FU肝動注+CPT-11全身投与、FOLFOX療法の治療成績
関 裕史（新潟県立がんセンター新潟病院 放射線科）
36. FOLFOX療法failure後の切除不能・再発大腸癌症例に対する5-FU肝動注療法の治療成績
大辻 俊雄（健生会土庫病院 消化器内科）
37. 全身化学療法のレスキューとしてリザーバー肝動注を行った大腸癌肝転移症例の検討
板野 哲（久留米中央病院 内科）
38. 大腸癌肝転移に対するFOLFOX療法後の肝動注化学療法の成績
植野 映子（癌研有明病院 画像診断部）
39. 大腸癌肝転移に対する治療戦略－予定されている肝動注vs全身化学療法試験における肝動注先行6ヶ月の設定の妥当性について－
新槇 剛（静岡県立静岡がんセンター 画像診断科）

プログラム 2008年1月11日(金)

16:00~17:30 シンポジウム (共催：株式会社ヤクルト本社)

「肝転移を伴った予後不良切除不能進行再発大腸癌症例を対象とした、全身化学療法と、肝動注療法を全身化学療法に先行投与する治療とのランダム化第Ⅲ相試験」

座長：荒井 保明 (国立がんセンター中央病院 放射線診断部)
室 圭 (愛知県がんセンター中央病院 薬物療法部)

S1. プロトコール概要

宇良 敬 (愛知県がんセンター中央病院 薬物療法部)

S2. 大腸癌に対する化学療法の最新の動向とこの試験に期待するもの

吉野 孝之 (国立がんセンター東病院 内視鏡部)

S3. 試験実施上の注意点-FOLFOX+BVについて-

山崎健太郎 (静岡がんセンター 消化器内科)

S4. 試験実施上の注意点-WHFについて-

佐藤 洋造 (愛知県がんセンター中央病院 放射線診断部)

S5. 統計家としてのアドバイス

吉村 健一 (国立がんセンター がん対策情報センター医学統計室)

17:30~18:30 イブニングセミナー (共催：日本化薬株式会社)

司会：角田 徹 (角田外科消化器科医院)

「抗がん剤血管外漏出の症状と対応」

講演：山本 明史 先生 (埼玉医科大学国際医療センター 皮膚科教授)

プログラム 2008年1月12日(土)

8:30~9:30 モーニングセミナー (共催: エーザイ株式会社)

司会: 板野 哲 (久留米中央病院 内科)

「薬剤性腎障害を防ぐために -GFR推算式の活用-」

講演: 今井 圓裕 先生 (大阪大学大学院医学系研究科 老年・腎臓内科准教授)

9:35~11:05 ワークショップ (共催: 第一三共株式会社)

「中心静脈リザーバーのエビデンスを求めて」

座長: 井隼 孝司 (山陰労災病院 放射線科)

森田 荘二郎 (高知県・高知市病院企業団立高知医療センター 集学診療部・放射線療法科)

浅井 望美 (国立がんセンター中央病院 外来第Ⅱ領域 看護部)

WS 1. 在宅リザーバー管理におけるヒューバー針固定法についての検討

富田 亜希子 (公立八女総合病院 アメニティーセンター)

WS 2. 当院化学療法部における皮下埋込み型ポートを使用した在宅化学療法の管理

-動静注ポート管理のエビデンスに向けて-

梶 桂子 (大阪大学医学部附属病院 化学療法部)

WS 3. 当院におけるインフューザーポンプ使用患者のCVポート穿刺部テープ固定についての評価

笹川 良子 (愛知県がんセンター中央病院 看護部)

WS 4. 当院におけるCVポート感染例の検討

西村 佳寿美 (山陰労災病院 看護部)

WS 5. CVポートにおける感染管理についての実態調査

梅村 真佐江 (国立がんセンター中央病院 外来第Ⅱ領域)

WS 6. 当院におけるCVリザーバー挿入時の感染防御に対する活動

中村 由起子 (静岡県立静岡がんセンター 看護部)

WS 7. リザーバー感染症例の検討 -リザーバー穿刺時の消毒を中心に-

小野 文恵 (高知県・高知市企業団体 高知医療センター 看護局、外来ケアルーム)

11:05~11:53 セッションⅦ: 看護

座長: 伊東 和樹 (伊東クリニック)

紀野 修一 (旭川医科大学病院 臨床検査・輸血部)

40. 安全なリザーバー管理へ向けての活動

近藤 文子 (東広島医療センター 外科2病棟)

41. 切除不能・再発大腸癌に対するFOLFIRI/FOLFOX療法導入目的での教育入院期間における不安要素に関する患者及び看護師の意識調査

柴本 薫 (静岡県立静岡がんセンター 看護部)

42. 入院外来継続看護へ向けたリザーバー指導用パンフレット改訂

広松 武史 (公立八女総合病院 5階東病棟)

43. 末梢ルートキープ困難な肝硬変症に対するCVリザーバー留置

伊藤 舞 (医療法人社団慶友会 吉田病院 7階病棟)

44. テンプレートを用いた抗がん剤治療における電子カルテ看護記録の検討

佐藤 美奈子 (旭川医科大学病院 6階東ナースステーション)

45. 外来化学療法室で行うCVリザーバーの固定 -診療材料費からの検討-

田尻 信子 (高知県・高知市企業団立 高知医療センター 看護局、外来ケアルーム)

プログラム 2008年1月12日(土)

12:00~13:00 ランチョンセミナー (共催:タイコヘルスケアジャパン株式会社)

司会: 曾根 美雪 (岩手医科大学 放射線科)

「～HAPPY～を感じる時人はやさしい気持ちになれる」

講演: 山口 裕子 氏 (株式会社サンリオ ハローキティ・デザイナー)

13:00~13:10 議事総会

13:10~14:14 セッションⅧ: 動注4 (肝細胞癌, 胆嚢・胆管癌, 膵癌)

座長: 稲葉 吉隆 (愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR部)

東原 秀行 (福岡大学病院 放射線科)

46. 進行肝細胞癌に対するインターフェロン併用動注化学療法(FAIT)の治療効果メカニズムの解析
ーミトコンドリアDNA変異の観点からー
近藤 礎 (大阪大学医学部附属病院 化学療法部/大阪大学 先端科学VBL)
47. 肝予備能の低下した巨大肝細胞癌症例に対する大動脈留置型特殊リザーバー (System-I-2)
を用いた治療の工夫
岩本 英希 (久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門)
48. 肝左葉動注後RFAにてCRを得た置換型右肝動脈を有する多発肝細胞癌の1例
池園 友 (公立八女総合病院 内科)
49. 主結節が10cm以上のStageⅣ肝細胞癌症例に対するNew FP療法
永松 洋明 (公立八女総合病院 内科)
50. 進行胆嚢癌・胆嚢癌術後肝転移に対する肝動注療法
加藤 健一 (岩手医大 放射線科)
51. 動注化学療法と定位放射線照射が奏効したリンパ節転移を伴う肝門部胆管癌の一例
末吉 智 (奈良県立医科大学 放射線科)
52. 肝内胆管癌に対する塩酸ゲムシダピン (GEM) 肝動注化学療法の第Ⅰ / Ⅱ 相臨床試験
(JIVROSG-0301) -第2報-
稲葉 吉隆 (日本腫瘍IVR研究グループ(JIVROSG)/愛知県がんセンター中央病院
放射線診断・IVR部)
53. 切除不能膵臓癌に対するnafamostat mesilate持続動注併用gemcitabine療法
宇和川 匡 (東京慈恵会医科大学 外科/東急病院 外科)

プログラム 2008年1月12日(土)

14:14~15:10 セッションⅩ: CVリザーバー2 (技術: 前腕、合併症)

座長: 青木 利明 (東京医科大学八王子医療センター)
竹内 義人 (国立がんセンター中央病院 放射線診断部)

54. 当院における大腸癌に対する化学療法のための橈側皮静脈カットダウン法による埋め込み式中心静脈リザーバー留置術の経験
瀬藤 真一郎 (群馬県立がんセンター 消化器外科)
55. 当院における前腕部中心静脈リザーバー留置の成績
上島 巖 (聖マリアンナ医科大学病院 放射線科)
56. Pinch-off(Subclavian Compression)によるカテーテル離断を来した中心静脈リザーバー留置の1例
藤森 芳郎 (JA長野厚生連北信総合病院・外科)
57. 上腕留置型中心静脈リザーバーカテーテルトラブルの2例
薄井 庸孝 (昭和大学横浜市北部病院 放射線科)
58. IVH皮下埋め込みポート周囲の感染に続発した血栓性静脈炎により下大静脈閉塞をきたした一例
杉山 宗弘 (大田原赤十字病院 放射線科)
59. 中心静脈リザーバー留置後に感染または皮膚潰瘍を繰り返した2例
生口 俊浩 (福山市民病院 放射線科)
60. Twiddler's syndrome様のカテーテル逸脱を生じた前腕部留置式埋没型中心静脈カテーテルの1例
山西 伴明 (高知大学 放射線科)

15:10~16:10 パネルディスカッション (共催: リザーバーシステム小委員会)

「医療機器の不具合報告体制」

座長: 荒井 保明 (国立がんセンター中央病院 放射線診断部)
高安 幸生 (たかやすクリニック)

- P1. 行政サイドとしての医療機器不具合報告体制
石井 健介氏 (医薬品医療機器総合機構 安全部 医療機器安全課)
- P2. 不具合報告体制に対する企業としての取り込むと要望
本間 士朗氏 (東レ株式会社 医療用具事業部)
- P3. 多施設共同研究「埋め込み型中心静脈ポートシステムの不具合に関する調査研究」の中間解析結果の解釈
曾根 美雪 (岩手医科大学 放射線科)

16:10~16:20 次期当番世話人挨拶・閉会の辞

板野 哲 (久留米中央病院 内科)
貞岡 俊一 (東京慈恵会医科大学 放射線科)